

新潟県

公民館月報

昭和54年5月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共 840円】



笹川流れ

新潟県の北端にある蒲
葷山塊が、日本海にせま
り、波浪と地殻変動によ
り、変化と絶景にとむ地
形を生んだのが、笹川流
の景勝である。

山北町浜新保より寒川
に至る約一キロ、すぐれた変
化に富む海岸美を形づくってい
る。この成因は比較的新らしい
時代の海岸線一帯の隆起と、そ
の後に於ける海岸の花崗岩台地
に加えられた、波浪によるはげ
しい浸蝕作用によるもので、全
体的には階段状、卓上台地を深
くきざむ浸蝕谷を主体とし、こ
の間に奇岩、怪石、孤島、洞
窟、海門などの奇観がおりなさ
れ、特有の風致をみせている。
昭和二年九月五日国の「名勝
及び天然記念物」として文化財
に指定されている。

文 新潟県の文化財による

絵 青木謙幸(山北南中)

第一回評議員会

二つの新規事業盛る

実践記録作成と主事会復活

さる五月九日、新潟市新潟会館で昭和五十四年度の第一回評議員会が開かれた。付議事項の新年度事業計画、収支予算案など七案件は別稿のとおり承認された。八年ぶりに八〇万円から百二十万円と五〇パーセントも増額した県費事業補助等も見込まれるところから、新しく「公民館活動実践記録集」の作成、主事会幹事会の復活など、久しぶりに明るく展開が見られた。

なお、この日評議員会終了後、石井耕一会長主催による「社教法施行三十周年、県公連結成三十周年記念パーティー」が開かれ、県教委、県市長会、県社教協会、前県公連会長などの来賓を交え歓談の花を咲かせた。(カット写真は、石井耕一主催社教法施行・県公連結成三十周年記念パーティー)



(30周年記念パーティーで歓談する出席者)

議定事項

①昭和五十三年度県公連歳入歳出決算見込みについて
歳入決算見込み九百二十九万七千三百九十一円、歳出決算見込み九百二十五万九千五百八十五円、繰り越し見込額三万七千八百六十六円を承認。

②昭和五十四年度県公連事業計画

社教法施行 県公連結成

三〇周年記念パーティー

盛況

この六日の地方選結成三〇周年を祝う集いが開かれ、華で、ゆづりの三連を東した豊栄市長の石井耕一氏(本会々長・県社教教育委員長)が主催し、社教

この六日の地方選結成三〇周年を祝う集いが開かれ、華で、ゆづりの三連を東した豊栄市長の石井耕一氏(本会々長・県社教教育委員長)が主催し、社教

この六日の地方選結成三〇周年を祝う集いが開かれ、華で、ゆづりの三連を東した豊栄市長の石井耕一氏(本会々長・県社教教育委員長)が主催し、社教

③昭和五十四年度第三〇回県公民館(会費基本方針について)
会期 八月二十七日(月)
会場 長岡市厚生会館
主題 「住民の自治能力の向上に果たす公民館の役割」
等別紙大会要項のとおり承認。

④昭和五十四年度県公連市町村負担金の賦課額について
県市長会、同町村会の査定結果にもとづき賦課総額三百二十五万円を平均割三〇パーセント、人口割七〇パーセントとした算出額を二十万九千二百九十二円に割り当てることを承認した。

⑤昭和五十四年度役員補充について
人事異動にもなって欠員を生じた県公連の役員補充がはかられ、次の方々が前任者の任期期間の役員として補充された。
理事、高橋富栄(兼市) 中越富治(佐和田町) 丸山昭三(柏崎) 小崎純三郎(横沢町)
理事、藤田十一郎(新津市)
⑥郡市代表主事幹事会の推選について
県公連の財政事情の悪化のため長年にわたり中断していた主事会幹事会を復活することがはかられ承認された。このため、あらたに各郡市から一名の主事会幹事の選出を依頼することになった。

石井耕一メモ ⑧

立会演説会 郷土史

今、この開拓ができるようになった。農地はできたが、加治川が溢れて農々水害を受けた。碓塚の庄屋遠藤七郎左衛門宗寿は、村の外まわりには水防堤を築いた。

日照りの夏には雨水がなくなる。隣の谷を木から新太田川という水を掘り、碓塚へ無敵に注いでいた水をまわして用水とした。

碓塚の農地は碓塚田藩の家老堀内匠の所有であり、村民はその小作人であった。宗寿は新田田の資産家から金を借りて農地を一括買収し、それを自分のものとせず、農民に与えて自作農とした。借金には年賦償還である。二百数十年前行われた農地開放である。

新開地の村民は、物を買う品など、なるべく白紙で多て位買で書かれたものを期待していきま。説明文は四〇〇程度でお願いします。 編集部



表紙絵募集

絵画教室での傑作、利用される。説明文は四〇〇程度でお願いいたします。 編集部



むらの生活史に興味をもつ私
は、暇があると老人をたずねて
話を聞くことが多い。この時が
私にとって、いちばん充実した

昭和54年度

県公民館連合会事業計画

1. 重点目標

- (1) 新潟県公民館振興市町村長連盟との提携をいっそう強め公民館振興に関する国および地方公共団体の行財政施策の強化促進に資する。
- (2) 公民館をめぐる諸制度改善への提言を活発にし、社会教育法一部改正への世論をたかめる。
- (3) 市町村公民館の実際活動の充実と向上に資するため「公民館活動実践記録集」を刊行配布する。
- (4) 主事会の活動を復活し専門的・技術的な調査・研究活動を振興する。
- (5) 新潟県公民館連合会の健全なる財政運営を維持していくために新潟県当局の抜本的な援助を要望していく。

2 内容別事業計画

1. 連絡協議

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 全国公民館連合会総会 | 1回 |
| (2) 都道府県公連事務局長会議 | 1回 |
| (3) 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会 | 1回 |
| (4) 関東甲信越静公民館連絡協議会事務局長会議 | 1回 |
| (1) 県公連評議員会 | 2回 |
| (2) 県公連理事会 | 4回 |
| (3) 県公連監事会 | 1回 |
| (4) 県公連主事会 | 1回 |
| (5) 県公連編集委員会 | 2回 |

(1) 全国公民館研究集会

- (11月13・14日岐阜県岐阜市民会館)
- (2) 全国公民館振興大会 (12月 東京都)
- (3) 公民館施設国庫補助増額運動(12月下旬 東京都)
- (4) 関東甲信越静公民館大会 (9月5・6日長野県長野市民会館)

2. 研修会・講習会

- (1) 県公民館大会開催 (8月27日長岡市厚生会館)
- (2) 上中下越主催の大会・研修・講習会の共催
 各郡市公連大会・研修会・講習会の共催
- (4) 県公民館長研修会の協賛 (10月16・17日松之山町)
- (5) 県公民館職員講習会の協賛 (前期6月5～7日越前浜) (後期7月17～19日 ")

3. 資料発行・あつせん

- (1) 「新潟県公民館月報」の発行
- (2) 「公民館関係法令・解説」の発行
- (3) 「月刊公民館」の発行事務に協力
- (4) 社会教育関係優良図書紹介あつせん

老人と語る

滝沢秀一

深く聞けるし、新鮮で楽しい。おぼろげには見たが、ぼんやりと見えてきた。おぼろげには見たが、ぼんやりと見えてきた。おぼろげには見たが、ぼんやりと見えてきた。

こんなおつきあいを私は、近ごろ老人と語るのとひとりに呼んでゐる。これは、一年ほど前のことだが、県老人福祉施設事業協会長の下先生からある研究。それは、これまでも私が、社

時である。社会教育、福祉、民俗調査と仕事の関係もあって、老人とのおつきあひも長い。きつかけになってのことである。その末、自分の興味や必

分けていたのであった。それからの私は変わったか、といふは全くこれと同じである。老人も相変わらず迎えてくれる。でも、私の気持は全然別のものでした。使

4. 社会教育関連機関・団体との提携事業・運動

- (1) 県社会教育協会の事業に協力
- (2) 県社会教育団体の事業に協力
- (3) 県広報協会の事業に協力
- (4) 県図書館協会の事業に協力
- (5) 奉仕銀行事業に協力
- (6) 行政監察相談事業に協力
- (7) 安全会議事業に協力
- (8) 明るく正しい選挙推進運動に協力
- (9) 貯蓄推進運動に協力
- (10) 新生活運動に協力
- (11) 健民運動に協力
- (12) 交通安全運動に協力
- (13) 緑化推進運動に協力
- (14) 献血運動に協力
- (15) 環境衛生推進運動に協力
- (16) 社会を明るくする運動に協力
- (17) 青少年育成運動(県民会議)に協力
- (18) 国民体力づくり運動に協力
- (19) 子供を水から守る運動に協力
- (20) 親切運動に協力
- (21) 人権運動に協力
- (22) 各種週間運動に協力

まずまず興味

も、その末、自分の興味や必

分けていたのであった。それからの私は変わったか、といふは全くこれと同じである。老人も相変わらず迎えてくれる。でも、私の気持は全然別のものでした。使

第30回新潟県公民館大会要項

(参加申込み用紙は各公民館にあります。)

1. 趣 旨

戦後の荒廃の中で公民館が発足して30余年。この間、公民館は住民とともに困難な条件の中を、郷土の復興、民主化の推進、生活・文化の向上に着実な歩みを続けて今日にいたった。

これはひとえに幾多先人のご努力の賜であり、深く敬意を表するものである。

第30回新潟県公民館大会は、広く住民に開かれた大会として、公民館活動の目的である「住民の自治能力の向上」に果す役割を、住民および行政関係者とともに、究明しようとするものである。

2. 主 題

「住民の自治能力の向上に果す公民館の役割」

3. 主 催

- 新潟県公民館連合会
- 新潟県教育委員会
- 長岡市
- 長岡市教育委員会
- 中越地区公民館連絡協議会

4. 後 援

新潟県市長会、新潟県市議会議長会、新潟県町村会、新潟県町村議会議長会、公民館振興市町村長連盟新潟県支部、新潟県市町村教育委員会連合会、新潟県社会教育連絡協議会、新潟県社会教育主事連絡協議会、新潟県体育指導委員協議会、(社)新潟県社会教育協会

5. 主 管

中部地区公民館連絡協議会、長岡市中央公民館

6. 期 日

昭和54年8月27日(月)

7. 会 場

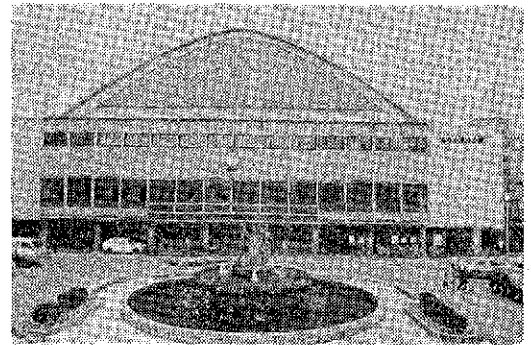
長岡市厚生会館(長岡市大手通り1-4-10)

8. 参 加 者

市町村長、市町村議会議長、市町村議会議員、市町村教育委員、市町村社会教育委員、市町村公民館運営審議会委員、市町村公民館長・主事・職員、市町村社会教育主事、市町村社会教育指導員、市町村社会体育指導委員、新潟県社会教育協会々員、社会教育関係団体職員・関係者、地方自治体職員・関係者、および一般住民希望者。

9. 日 程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:10	13:20	15:30	16:00
	受	開表	記	会		パ	開	
		会	念	ア		ネ	会	
		彰	講	ト		ル	式	
		式	演	ラ		討		
	付	式		ク		議		
				シ				
				ョ				
				ン				
				食				



(会場となる長岡市厚生会館)

10. 記念講演 (交渉中)

講 師 新潟県知事 君 健男殿
演 題 「これからの新潟県」

11. パネル討議

テーマ 「住民の自治能力の向上に果す公民館の役割は何か」

司会者	新潟日报社 論説委員長	長 沼 甲子男
パ ネ ル マ ン	文部省 社会教育官	俵 谷 正 樹
	小千谷市長	星 野 行 男
	関川村公民館長	伊 藤 茂 治
	松之山町社会教育委員	丸 山 サ ワ
	県社会教育協会常務理事	増 井 悌三郎

12. 参加費と申込み

- (1) 参加費 1,400円
(資料代1,000円、会食費400円)
- (2) 申込み方法 (略)
- (3) 参加申込みの取消し・変更等
参加申込みの取消し・変更等は、8月10日までとし、それ以降のものについては、参加費・会食費は返還しない。ただし、資料は後日申込み責任者宛に送付する。

13. 大会事務局

〒940 長岡市柳原町2の1
長岡市中央公民館内
第30回新潟県公民館大会事務局
電話・長岡 (0258) 32-0437

皆さま方多数のご参加をお待ち
申し上げます。

新潟県公民館連合会長 石 井 耕 一

関公連大会分科会から

昨年9月5・6日の両日茨城県大洗町で開催された第19回関東甲信越静公民館大会の概況については、本紙308号で紹介したとおりであるが、このたび同大会の分科会報告書が到着した。この記録のなかから恒例となった理事者部会の様子を紹介する。

司会者 山梨県公民館振興市町村連盟山梨支部長
 柿嶋 秀 男
 助言者 新潟県公連会長 豊栄市長 石井 耕 一
 記録者 茨城県所労郡八郷町公民館長 鈴木 修 照
 “ 茨城県高萩市中央公民館副館長 江 尻 寛

理事者の力と役割に期待

発表テーマ

1. 地域づくりと公民館活動

発表者 茨城県那珂郡山方町長
根本 孫 次

(1) 発表概要

「町づくりの基本は公民館活動である。」と考えています。私は公民館長から町長になりました。選挙の公約の中に「教育」と言えるようになったこと、これは進歩であります。公民館活動の重要性を痛感しておりますので、行政と公民館は半々に行っています。

現代の人間は、いい意味での個性がありません。世代間が断絶状態にあります。これは道徳が失なわれているからです。今こそ柱になるものが必要です。この魂を呼びもどすものは、公民館活動であると考えます。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A 5判34ページ 1部 250円(送料実費)

◎お申し込み先

〒 951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252 (24) 6073

以上のようなことをふまえて、当町の町づくり基本方針(山方の方向)をつくりました。

- ①町ぐるみ産業の振興 ②水と緑の保全と利用 ③老若婦青児の5結合 ④集落連合体としての町のまとまり ⑤山方の顔づくり ⑥潜在町民のUターン作戦 ⑦自治意識の高揚と周辺自治体との協力

(2) 質疑・意見等

町行政・教育を半々にやりたいとの発言だが、予算ではどのくらいか。(茨城、関谷)

(発表者) 町の一般会計予算の30%以上はある。現在の社会情勢のままでは今後たいへんなことになる。それを是正するのは社会教育である。これにつきむ金はムダではない。

(司会者) 山梨県では公民館と並べてYLO会館(老人・婦人・青年総合会館)の建設をすすめ、コミュニケーションの場をつくっている(県補助)。これにより、社会教育・文化・社会体育の3つをあわせ実施している。

(全公連事務局長 田中) 兵庫県では、学校施設と社会教育施設を併用の考えですすめている。施設は、集まりやすい、使いやすい立派な建物の方がよい。そのため国への陳情が必要である。その集りである「公民館振興市町村連盟」に加入されたい。

(3) 助言者内容

公民館職員研修会等に参加すると、理事者の関心が少ないので、思うような活動ができないということをよく聞く。これは理事者の理解がないということではなく、公民館が役に立たないからではないか。立派な業績をあげれば道おのずから開き、よい地域づくりができると考える。もう一度社会教育を考えたす要あり。

ほんとうの町づくりは人づくりであり、それは公民館活動(社会教育)であることを理事者は再認識して、力を傾注してほしい。公民館運営を左右するのは市町村長である。自治、それはみんなのしあわせであるから……。その手はじめにまず公民館振興市町村長連盟に加入してもらいたい。

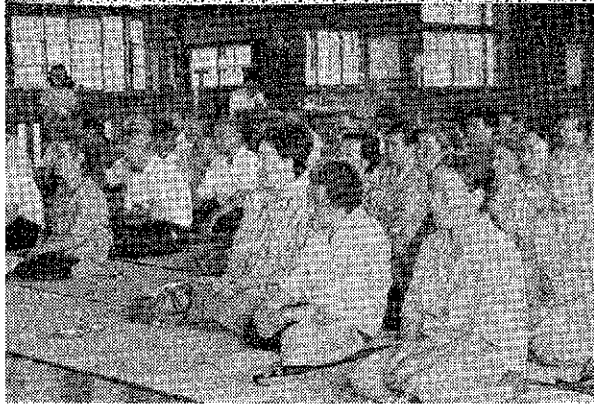
(4) まとめ

これからの公民館活動の発展のために「関プロの名において、各市町村長に対し、公民館振興市町村長連盟に加入するよう要請する。」ことを各分科会において決議されたい。

(若い保健婦さんの講話)



吉川町公民館



(きょうは、じちゃ・ばちやも緊張します)

実践記録シリーズ

⑤1

住民にアンケート

高齢者の力と役割に期待

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

一、吉川町と高齢者

吉川町は、海沿線に近い平野部から尾神岳の山間部まで比較的広い地域に五十三の集落が点在する過疎の町である。公民館も地域に根ざした活動をこの分館(と)言っても館なし、非活動分館長の体制をとっている。

こうした実情の中で、吉川町における六十歳以上の高齢者は約二百人余で全人口の二〇%近くを占めるに至っている。活力ある町づくり、地域づくりのために、高齢者の力と役割がますます期待されるようになった。

二、公民館のとらえかた

公民館がこの高齢者の力と役割に注目し高齢者施設を開設したのは三年前だった。他町町村にくらべ高齢者教育のとりかたは違っていた。しかし、高齢者施設の開設は高齢者教育のあけぼの、端緒を切り開いたことのほか、社会教育全体を通じて、本格的な施設を開発するに至った公民館活動の一つの前進でもあった。

三、ひまわり・やまゆり。

あさがお学級年間計画

月日	内容	講師・助言者
6/21	開講式 夏と健康 映画「高齢者と仕事」	町保健婦
7/19	楽しい家庭生活をおくるには 映画「おばあちゃんがいる」	池田文治
8/22	健康づくりとレクリエーション 映画「健康な老後のために」	外ノ池一
9/26	盆栽づくり(男子コース) ミニズクづくり(女子コース)	中野幸作 日朝ハツエ
10/23	町外研修(赤倉) 老人と宗教	宮下円亮
11/15	冬と健康 老人福祉と町づくり 閉講式	町診療所長 町

あさがお

公民館では、高齢者のできるだけ楽いやすいように、身近な単位で身近な施設を利用し、一年目標分館、一年目標地区へ川谷・水原・源分館、三年目標分館に開設した。

こうして、それぞれ「ひまわり学級」「やまゆり学級」「あさがお学級」を深める意味で町外研修を取り入れている。

「学級」と学級生親しまれる高齢者学級は誕生した。四、若かえったじちゃ、ばちや
年間の学習計画は、年当初公民館と学級生代表の打ち合わせ立案した。内容は、健康・家族生活・宗教・手づくり趣味を中心とした。(年間計画参照)とくに「あさがお学級」の場合、手づくり趣味の女子コースは、スズキを利用したミニズクづくりは好評で、フリーづくり、白濁づくりへと発展し四回の自主的学習を持った。その作品は町の文化展に出品され、学級生をたいへん元気づけた。

また、学級生相互の親睦と交流のことは、婦人の疲労も日常化している中で、孫の子守りなど高齢者の役割を担っている。五、今後の課題
しかし、毎回の出席率が学級申出者の三〇%と低かった。このことは、婦人の疲労も日常化している中で、孫の子守りなど高齢者の役割を担っている。五、今後の課題
学習変化をつけるために、映画も毎回活用し学習の理解を深め、加し作りあげていけるものを工夫研究しなければならぬだろう。また、学級が一年限りのため自主学級、講座とてなかなか定着しない。今後は、じっくりと時間をかけて、老人クラブなどが主体的に開設、運営できるように、きめこまかな配慮をほどこす必要があるだろう。

六、おわりに
アンケートによれば、町内の中学生の八割は親父母を尊敬しており、「一人一人に親切に教えたり、話したくなる」「一人一人を励まし家の生活を楽しんでくれる」が圧倒的に多かった。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

「私と公民館」の原稿
「実践記録」と同時に利用者の方から書いていただく「私と公民館」の原稿を募集しています。みなさんの公民館で活躍しておられる方々に依頼させていただきます。ご希望をお願いたしたく存じます。

(吉川町公民館長・中村三代)



大きな絵の道具を下げて行く通いなれた公民館への道。お二人の先生に導かれて、深邃な日本画の世界に、そっと初心の手を触れてみる楽しみは取れども損みず。

昭和四十七年に開設された公民館教養講座、私はその中の日本画教室二期生のひとりです。当初は午前、午後の二部に分けられても教室に溢れるほどの受講生でしたが、現在集まる同期生は九名です。私は、万葉の志賀守の歌を思ひ浮かべ、グループ名を「まわりの会」としました。書になれれば書を出さるわびのよう

に、か細くとも消えぬことなく続けようと励まし合って、いつのまにか七年目を迎えています。

多くの心ある人々に、希望分野へ入門の機会が与えられる公民館教室は、私にとっても未知の世界に自分の可能性を探る好機的到来で、一ヶ月間の時間がある時、これに相応しく感じたいと思います。

人たむらひもさきもきったものでした。けれども、年々新しい受講生が迎え入れられる教室です。入門を

に字がたてでもありましたが、長期の対応を考えたなければならぬ。持ち始めた絵筆は捨てたくない、一人を続けることは至難と、改め、共通の思いを確認し合い、



契機として、とてまなも公民館でグループ活動を続けたいといつても限度があることでしょう。一期生のため、前例がなかっただけに、私たちは決して不安をもっていません。二期生の方と同じ教室と、藤井・長瀬両先生のひたむき



「まわりの会」として、新しい道は開かれたのでした。あたたかい理解からくる公民館の運営の妙に、藤井・長瀬両先生のひたむきなやりかたの例えの通り遅まきながらその存在意識に開眼してきたように思う。「公民館と行事」それが受動的、能動的であろうと原厚はみんな情熱を燃やす同好の人々の組織で運営される学習であり、また自らも新しい社会文化の

昨年三月臨時館長の任でいられた明野新彦さん、胸形さんの前で「公民館という言葉を聞いたことがありませんか?」の質問に「アワー」とどうも「アワー」の二三も答えることができなかつたことを受けて、元来「祝言と音」が趣味な肩を縁が厚く言わ

みずみずしい心

五十嵐 サチ

なご熱意は、私たちの杞憂を越えていました。深い心配をいただき、長期継続の宿望はかなえられたのです。私たちが、公民館と先生方に頼りに支えられ、守られながら引継ぎの指導をいた

て、今日までこの道がまじ、幸甚に続いています。

余暇の文化、生涯教育が叫ばれている中で、退職後の生きがいの楽しみを加える一應美会をつくる、活動を続けたいと思います。現一として、私にも日本画の道が

私と公民館

に乗って可愛い手紙を動かすのと同様に、全く他人同志の一回の講座接触による帰還は100年の友を得たように親しく論議する。そこにはすでに感情の解け合った素情らしい仲間の出合が誕生す

甘ばりましょう

山口晋作

中々世に自己革新の途に指針を与える。講義接触もまた音楽のリズムである。

私は前職まま通例の如くお役所仕事は「親日の丸」の考えでいたことでは無い自覚がある。然し「日よの渦中」に入るや全くその裏感が異なり、一年を通ずる予算

開かれたこと、大きな喜びで、元来絵は得意な方ではなく、旅のスケッチでもされるようになったらと、軽い気持ちで参加した日本画教室でした。苗圃の二の和やかに握ってくれます。絵を描く一筋につながら、「おひさし言葉が好きな私は、自分の一筋に打ち込んで、自分自身を見つめることでもありますが、夢と心を持って、まじりましたが、こんな日本画に傾くようになろうと好時期にひなかつたのです。今では、日本画も私の生活の重要な柱となり、大きな楽しみとなっていきます。非常勤の仕事を持つ私は、その重役を全うしなければならぬことでも

※ ※ ※

自分の選んだこの道。

(三条市中央公民館 日本画教室)

編成から開講に至るまで、館長以下スタッフの目が来る日も来る日も幾枚かのペーパーの上に注がれ

は止に深々まじりてある。年々盛大を極める市展や合同作品発表会の出品も、このスタッフ対真剣な苦志熱意に燃える人々の努力によりある風格あふれるユニークな作品が出来るものかと思ふ。

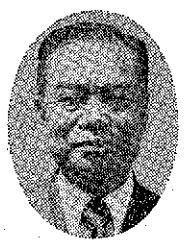
夜の管理職なら、巡回の折りに触れ見るみんなの目はいつも「イキイキ」としている。「サマ」のイキイキの花の開講期皆さん一緒にスタートしませんか。

◎ ◎ ◎

(長岡市中央公民館職員)

五里霧中

山田緑郎



昨年の秋頃、県公民館長である大寺隆の老師が、あんな方の修会があったとき、胡比奈講師が公民館経営も大変じゃろうが、諸君公民館経営を度外視した経緯は、やがて破綻して行くや、半信半疑で学校経営に踏み込んでみよ、と提案された。ところが、月刊公民館三月号に北斗草人のごときの悲観論法、

り、なかなか進歩は望めません。秀は望み通りにしても、道歩き時、庭に行くと、絵を描きたいと思う自分は、一木一草の美しさを和やかに握ってくれます。絵を描くことには、対象の新しい発見であり、自分自身を見つめることでもありますが、みずみずしい心求め、描かず、投げ出さず、仲間たちと一緒に歩み続けたいものと願っています。

◎ ◎ ◎

市民から信用されるように、住民から信用されるように、住民に「信心」を保持させる公民館経営をするため、今や五里霧中である。(糸魚川市中央公民館長)

あの頃のこと

涙とよろこびと (1)

丸山 昇

「そうですね、二十六年十一月た。月といつても、みじかかったはずね。本当に気持ちよかったです。それは、苦しいこともなかったとはいわないが、自分で企画、実施、反省評価のくりかえしができたとこの社会教育のメリットです。」

一、馬車馬のようにかけぬく

なにせ、給料よりも当面手当の方が、多かった。私が公民館に勤務したのは昭和二十九年十月でした。あの頃は正旨が一回もあつた時代で、こんな無駄なことは新生活運動の趣旨からも改善しよう。館長(現行井県公連会)が先頭に立って、今夜はこの部署明日はこの町内と、ナトニ映画機(米軍軍士団)をリヤカーに積んで回った。たき火の煙を堤が、出てならぬ。煙を堤をかき、正旨は二月にしようぜ、と、膝をまきながら話の合うこと何ヶ月、とうとうみなさん心もその趣意がなつてくれ、気持ちよく協力するようになった。昭和三十四年から現在の正旨に切り替えられました。

三、青年学級も夜なべ仕事

その頃から、農村では昔でも土地改良が行なわれ、機作業も機械化がさげはれてまいりました。公民館活動の中で、ユニークな事業としては、青年学級の自動車教習の開設というのがあります。昭和三十一年四月、学級生の毎晩弁当を運んでくれた女房の苦勞奉仕により、赤土を通び、運

四、天までこげよ

昭和三十八年八月わが町に全国レクリエーション大会が、三笠宮が、生れましたが、毎日が戦時中のような「月日火水木金」で明た。全国から社会体育関係者が、たまの休みに長女を抱き上げ、たまの休みに長女を抱き上げ、たまの休みに長女を抱き上げて準備にあけくれました。特に飯塚先生(現善町福東村教育長)、二階堂先生(現白根市教育長)、吉永先生(現新潟女子短大助教)その他の方々から賑か

腰下を公民館にお迎えし、ご接待にあつた女子職員は、保健所で検便までするという気のつかいようでした。

本橋中学校のグラウンドでの数回の大キャンプファイヤー、もしかの場合を予想して、警備署、消防団の協力を得ておりました。最後は「砂山のうた」で二人一人の握手でお別れおしました。

全国ユネスコホステル協会事務理事の横山先生から「大成功だったよ。」のおこぼれをいただいた。きには、むやみに涙が出てまいりました。その先生もいまはご人となりしました。

(農業市公民館勤務二十五年 現在同市市民課長補佐)

あ と が き

社教法施行、県公連構成三〇周年記念パーティ、県公連の財政事情をおもんばかる石井会長は、石井耕一主権として開催してくださった。感謝。

久しぶりにみた眞補助の増額、それに公民館振興市町村長連盟加藤市町村長の拡充など好材料のそろった年度、新規事業もやることになったし、先行き明るいものがあるようです。

次年度はいよいよ関東甲信越聯合公民館大会開催の当番が回ってきます。皆さん、またよろしくたのみますよ。(本)

生涯教育は理論ではだめだ

小畑 勇二郎 著

前秋田県知事

B6版 上製本 250ページ
定価 1,000円 円 160円

ユネスコで生涯教育が公式に討議主題となった1966年以來、わが国においても、理論の研究がさかんになってきたが、著者は全国にさきがけて生教育の実践活動の推進をはかり、「秋田の生涯教育」という一つのゆるぎない体系をつくりあげた。

—主な内容—

生涯教育の提唱/生涯教育のすすめ/生涯教育とは/生涯教育を進める機構/生涯教育の体系化/生涯教育と学校教育/生涯教育と公民館・図書館・博物館等/いろいろの事業を通して/盛り上がる力/今後の課題/その他

本書を手にした人は、「実力家の課長や部長にボンと肩をたたかれたように、啓発されたようになるだろう」ということはいわゆる読みごたえがあるということだ(お茶の水女子大学教授 森 隆夫)

申込先 〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会
(ETL 0252-24-6073)

秋田の生涯教育